

令和 4 年度相談支援部会の総括について

1 令和 4 年度相談支援部会の目指すべき方向性と課題

(1) 目指すべき方向性

障がい児（者）や、家族が抱える日常生活の困りごと相談への対応のため、相談支援事業者が中心となり、以下に掲げる課題に取り組む。

- ア 障がい児（者）の生活課題の整理と検討
- イ 社会資源の検証・開発
- ウ 困難事例の協議
- エ サービス等利用計画等の作成にあたってのスキルアップ
- オ 虐待相談に関する協議

(2) 令和 4 年度の課題

- ア 自然災害等への対応について
- イ 研修会の開催について
- ウ 困難事例対応および課題解決に向けた事例検討について
- エ 事業所一覧の更新
- オ その他、部会で検討が必要と判断した事項

2 協議の成果

(1) 自然災害等への対応について

災害発生時に三者（行政、障害福祉サービス等事業所および相談支援事業所）の初動体制を示すガイドラインとして平成 2 6 年 3 月に相談支援部会で作成した「災害時アクションプラン」の更新を図るため、秋田市福祉総務課地域福祉推進室より災害対策基本法の改正内容や福祉避難所、個別避難支援プランの取組状況等について講話をしていただいたほか、これまでの災害発生時における対応の振り返りや課題等を抽出し、更新する内容の方向性や項目等を整理した。

(2) 研修会の開催について

地域包括支援センター職員と相談支援専門員が一同に集まって研修会を開催し、各種制度や取組について情報共有するとともに、それぞれの役割の確認やスムーズなサービス移行方法等について検討し、連携体制の強化を図った。

(3) 困難事例への対応および課題解決に向けた事例検討について

平成 2 8 年度から実施している事例検討会は、今年度も、部会年間のスケジュールに組み入れ実施してきた。具体的には、原則毎月開催される部会において、1 時間ほどを事例検討の時間とし、事例を身体・知的・精神・児童の 4 分野に分け、併せて委員等を、所属する事業所の特徴から、先の 4 分野（4 グループ）に分類し、毎回 1 グループの中の 1 事業所から事例提供していただき、参加者全員で検討を重ねてきた。今年度は、身体障がい、知的障がい、精神障がいおよび児童の分野から各 1 事例ずつの計 4 事例について検討を行った。

各分野の様々な事例について検討を重ねてきたことで、委員等でもある相談支援専門員のスキルアップにつながり、ひいては、本市の相談支援体制の強化にもつながる良い機会となっている。

(4) 事業所一覧の更新

秋田市HPで公表している障害福祉サービス等事業所一覧を最新にするため、市に情報提供した。

(5) その他

相談支援部会は各相談支援事業所に所属する委員のほか、協力員として市内全ての相談支援事業所が関わっていることから、相談支援業務に関する情報交換・情報共有の場として活用し、横の連携と知識の向上に努めた。

3 今後の部会での協議等について

(1) 自然災害等への対応（継続）

平成26年に相談支援部会で作成した「災害時アクションプラン」の更新に向け引き続き検討を行い、令和5年度中の完成を目指していきたい。

(2) 研修会の開催（継続）

障がい福祉に関わる職員のスキルの向上、他分野領域との連携につながる研修会の開催に向け、引き続き協議を行うこととしたい。

(3) 困難事例に対する検討について（継続）

困難事例への対応を積み重ねていくことで、地域における福祉サービスや社会資源の評価につながるとともに、今後、市が整備していくべきサービス等も見えてくると思われる。

そのため、引き続き、定期的な事例検討を行い、各相談支援事業所が抱えている疑問点について協議を行い、障がい種別ごとの対応等について課題解決への糸口を見出していくこととしたい。

【参考】令和4年度の開催状況

令和4年	8月23日（火）	合同部会
	9月21日（水）	第1回相談部会
	10月19日（水）	第2回相談部会
	11月16日（水）	第3回相談部会
	12月21日（水）	第4回相談部会
令和5年	1月25日（水）	第5回相談部会（研修会）
	2月15日（水）	第6回相談部会

※各部会の前に運営会議を開催